

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

N P O 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称R A C）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成19年3月現在、123団体が加入しています。

今回は直近の活動と来年度の取組予告についてご紹介します。

【R A Cスキルアップ研修会】

川の体験活動では、事故が起きないように準備計画をすることが大前提ですが、現場において瞬時的な確かな判断・行動をすることが求められます。今年は、川での体験活動のプログラムで人気のカヌー・カヤックを取り上げて、安全対策について3月17日、18日に埼玉県長瀨町でスキルアップ研修会を行いました。

[1日目]

○スローロープ実習



漂流者を陸上から確実に救助するために、陸上練習、水上実習を実施。殆どの受講者が被救助体験も体験。

○ひやりはっとKYT

受講者がこれまでに経験した水辺でのひやりはっとをとりまとめ、自ら検証し、発表した後に、一つの事例を取り上げて、どうしたらその「ひやりはっと」を防ぐことができたのかについて、ワークショップ形式で検討。専門家のアドバイスにより「ひやりはっと」した事例でも未然防止をすることの重要性について再認識する機会となる。

[2日目]

○カヤック実習①

～基本的な装備・体の使い方、コミュニケーション～
乗船時の体の重心の位置や、パドル操作の時のパドル中心部分の位置、効果的なブレードの軌道など、経験者でも見落としがち忘れがちなことを習得。ま

た、水上では声が届かないので、その際のパドルを使ったコミュニケーションを実習。

○カヤック実習② ～デモ及び牽引・TXレスキュー



牽引の講習では、海・川・湖でそれぞれ違う長さ及び種類の機材を使ったほうが良いことや、牽引は危険を伴うのでしっかりとした操船ができるようになってから使うべきこと等を紹介。転覆した船を水抜きして再乗艇させるTXレスキューもバウ側（前）から滑らすように引き上げると良いことなどを紹介。その後各自のレベルに応じて実習。

【来年度の川に学ぶ体験活動全国大会について】

当大会は「川に学ぶ」社会形成や川での体験活動を普及することを主な目的として、平成12年から年に1度開催しているものです。平成19年度は、岐阜県の長良川をメイン会場にして9月22日（土）・23日（日）に開催の予定です。体験型の分科会では開催地域の市民団体等がそれぞれの得意分野の取組みを企画しています。

川での体験活動が初めての方、ご家族連れの方でも川で遊び・川に学ぶ体験をすることができます。普段「自然が不足気味」な方々も、是非お気軽にご参加下さい。基本的な参加料は無料（但し分科会等で若干費用が発生）です。

これらの川での楽しい活動を通じて、川での多くの感動体験を増やすことで、川と人々が共存できる暮らし、つまり「川に学ぶ社会」へ、一歩でも近づくと出来れば幸いです。

《N P O 法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都中央区新川2-10-6 カヤヌマビル703号

TEL.03-5542-7577 FAX.03-5542-7578

<http://www.rac.gr.jp>